

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 ブロードメディア株式会社
 コード番号 4347 URL <http://www.broadmedia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 植村 保彦

TEL 03-6439-3725

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,408	8.2	△147	—	△283	—	△269	—
25年3月期第1四半期	3,151	11.4	78	△54.1	48	△77.2	60	△29.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △230百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 73百万円 (△80.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△4.13	—
25年3月期第1四半期	0.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	12,473	6,602	48.1	92.01
25年3月期	12,529	6,930	50.6	97.30

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 6,000百万円 25年3月期 6,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	17,000	31.1	400	140.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	66,723,516 株	25年3月期	66,723,516 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,507,332 株	25年3月期	1,507,332 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	65,216,184 株	25年3月期1Q	65,216,184 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期と比べ257,781千円(8.2%)増加し、3,408,920千円(前年同期は3,151,138千円)となりました。「スタジオ」「ネットワーク営業」は減収となりましたが、「コンテンツ」「放送」「技術」が増収となったことで売上高は増加いたしました。

営業利益は、147,197千円の営業損失(前年同期は78,641千円の営業利益)となりました。前年同期に営業損失を計上した「放送」が営業利益を計上し、「技術」が増益となったものの、他の3つのセグメントが営業損失を計上したことが要因です。

経常利益は、283,890千円の経常損失(前年同期は48,821千円の経常利益)となりました。営業損失を計上したことに加え、リース債務に係る支払利息や持分法による投資損失が増加したことが主な要因です。

四半期純利益は、269,509千円の四半期純損失(前年同期は60,155千円の四半期純利益)となりました。上記経常損失を計上したことに加えて、前年同期に発生した特別利益(段階取得に係る差益)がなかったこと等により、四半期純損失となりました。

[セグメント別事業内容(平成25年6月30日)]

セグメントの名称	事業内容	主な業務の内容	主な連結子会社
コンテンツ	ホームエンタテインメント	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドゲーム事業 ・クラウドゲーム機「G-cluster」の販売及びクラウドゲームサービスの提供 ・通信事業者へのクラウドゲームプラットフォーム提供及びゲーム事業者へのクラウドゲーム機能提供 ・クラウドビデオ「T's TVレンタルビデオ」の提供 ・インタラクティブシステム「T's TVクラウド」の提供 	—
	映像サービス	・PC・スマートフォン・タブレット向け、ドラマ専門映像配信サービス「ドラMAXアリーナ」の提供	ハリウッドチャンネル(株)
	CS放送会員サービス	・CS放送視聴に関する独自の会員制サービス「Club iT」の運営	—
	モバイルサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイルサイト「ハリウッドチャンネル」等、複数サイトの企画・運営 ・スマートフォンサイト「クランクイン!」等の企画・運営 	ハリウッドチャンネル(株)
	教育サービス	・イーラーニングシステムを利用した単位制・通信制高校「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」の運営	ルネサンス・アカデミー(株)
	その他サービス	・「ナショナル ジオグラフィック」日本語版公式サイト等の運営等	ルネサンス・アカデミー(株)
放送	釣り専門チャンネル	・衛星一般放送事業「釣りビジョン」及び衛星基幹放送事業「BS釣りビジョン」の番組制作、放送及び、ケーブルテレビ局等への番組供給	(株)釣りビジョン
スタジオ	制作事業	・日本語字幕制作、日本語吹替制作、文字放送字幕制作、番組宣伝制作	ブロードメディア・スタジオ(株)
	番組販売事業	・ハリウッド映画等のテレビ局への供給	
	映画配給事業	・劇場映画の配給、DVD/Blu-rayの発売、テレビ放映権の販売	
技術	CDNサービス	・コンテンツを最適な形で配信するCDNサービスの提供	CDNソリューションズ(株)
	デジタルシネマサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロードメディア*CDN for theaterの提供、及び上映システム的设计・販売及びレンタル ・映画館へデジタル機材の導入を推進する配給・興行向けVFPサービスの提供 	— デジタルシネマ倶楽部(株)
ネットワーク営業	ISPサービス販売	・「Yahoo! BB」ISPサービスの販売	—
	携帯電話サービスの取扱い	・「ソフトバンク・モバイル」の携帯電話サービスや携帯電話端末の取り扱い	—
	ブロードバンド回線販売	・ブロードバンド回線「Yahoo! BB」の販売	—
	その他	・その他商材の販売	—

当第1四半期連結累計期間における各セグメントごとの売上高及び営業利益の概況は、以下のとおりです。

①コンテンツ

「コンテンツ」セグメントは、ホームエンタテインメント、映像サービス、CS放送会員サービス、モバイルサービス、教育サービス及びその他サービスで構成されており、テレビ・PC向けの動画配信、モバイル向けのコンテンツ配信、CS放送視聴に関する独自の会員制サービス及び広域通信制高校に至るまでの広範な事業を行っております。また、当第1四半期連結累計期間よりホームエンタテインメントにおいて、クラウドゲーム事業を開始いたしました。

売上高は、前年同期と比べ32,082千円(4.5%)増加し、740,790千円(前年同期は708,707千円)となりました。教育サービスにおいて生徒数が順調に増加していること等が増収の主な要因です。

営業利益は、72,341千円の営業損失(前年同期は65,790千円の営業利益)となりました。既存事業であるCS放送会員サービスの売上が縮小傾向にあることに加えて、ホームエンタテインメントにおいてクラウドゲーム機「G-cluster」の発売に合わせたテレビCMの出稿やイベント開催により費用が増加したことが主な要因です。

②放送

「放送」セグメントは、釣り専門番組「釣りビジョン」の制作、並びにBS・CS放送及びケーブルテレビ局等あての番組供給事業を行っております。

売上高は、前年同期と比べ221,388千円(26.9%)増加し、1,043,652千円(前年同期は822,263千円)、営業利益は、29,008千円(前年同期は31,546千円の営業損失)となりました。

「BS釣りビジョン」の視聴料収入が順調に伸びていることや、制作売上が好調に推移したことが主な要因となり、売上が増加し、営業利益を計上いたしました。

③スタジオ

「スタジオ」セグメントは、映画やドラマ等の映像作品の調達、日本語字幕・吹替制作から、その作品の配給、販売を行っております。

制作事業は、受注が増加したことにより増収増益となりましたが、番組販売事業は、テレビ局への販売が減少したことにより減収減益となりました。また、映画配給事業は、DVDの販売が不調であったことや、広告宣伝費が増加したこと等により営業損失を計上いたしました。これらの結果、売上高は、前年同期と比べ5,106千円(0.8%)減少し、663,245千円(前年同期は668,352千円)、営業利益は、32,828千円の営業損失(前年同期は70,073千円の営業利益)となりました。

④技術

「技術」セグメントは、「ブロードメディア®CDN」等のCDN(コンテンツ・デリバリー・ネットワーク)サービス及びデジタルシネマサービスを行っております。

前年同期にはなかったデジタルシネマ機材の大型販売案件があったことにより、売上高は、前年同期と比べ175,056千円(56.7%)増加し、483,733千円(前年同期は308,677千円)となりました。

一方で、上記デジタルシネマ機材の販売は利益率が低いため、営業利益は、前年同期と比べ484千円(5.5%)増加し、9,337千円(前年同期は8,852千円)となりました。

⑤ネットワーク営業

「ネットワーク営業」セグメントは、ISPサービスや携帯電話サービス、ブロードバンド回線等の販売代理店として、通信回線販売業者等の事業者を通じて販売活動を行っております。

売上高は、前年同期と比べ165,639千円(25.8%)減少し、477,498千円(前年同期は643,138千円)、営業利益は、80,374千円の営業損失(前年同期は34,528千円の営業損失)となりました。

ISPサービスの販売が減少したことに加え、解約引当率が上昇したことにより、売上が減少し、営業損失が拡大いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ48,420千円増加し、7,442,973千円となりました。現金及び預金や受取手形及び売掛金等が減少したものの、クラウドゲーム機「G-cluster」の仕入に伴い商品及び製品が増加したこと等により、流動資産は増加いたしました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ104,964千円減少し、5,030,363千円となりました。持分法による投資損失の計上により投資有価証券が減少したこと等が主な要因です。これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ56,544千円減少し、12,473,337千円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ281,041千円増加し、4,125,029千円となりました。買掛金が増加したことが主な要因となり流動負債は増加いたしました。固定負債は、大きな変動がなく、前連結会計年度末に比べ9,562千円減少し、1,745,740千円となりました。これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ271,479千円増加し、5,870,769千円となりました。

(ハ) 純資産

当第1四半期連結累計期間において、四半期純損失269,509千円を計上いたしました。また、97,824千円の剰余金の配当を実施しております。これらの結果、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ328,023千円減少し、6,602,567千円となりました。これにより、自己資本比率は48.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ273,143千円減少し、2,687,806千円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、プラス172,208千円（前年同期はプラス337,942千円）となりました。税金等調整前四半期純損失283,879千円を計上いたしましたが、これは、支出を伴わない減価償却費を123,212千円を含んでおります。また、クラウドゲーム機「G-cluster」の仕入によりたな卸資産が増加いたしました。売上債権が減少したことや仕入債務が増加したこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローはプラスとなりました。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、マイナス444,584千円（前年同期はマイナス601,584千円）となりました。これは、リース資産を主とした固定資産の取得による支出223,076千円に加え、貸付けによる支出220,000千円があったこと等によるものです。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、マイナス8,877千円（前年同期はプラス55,853千円）となりました。これは、セール・アンド・リースバックによる収入151,652千円があった一方で、リース債務の返済74,666千円や配当金の支払89,864千円を実施したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月25日の決算発表時に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※ 上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

特に下記要因により業績が異なる可能性があります。

- ・ クラウドゲーム事業の進捗が見通しと異なる場合
- ・ 「ネットワーク営業」の進捗が見通しと異なる場合

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,960,949	2,687,806
受取手形及び売掛金	1,998,166	1,636,641
商品及び製品	10,675	504,122
仕掛品	134,109	122,192
原材料及び貯蔵品	104,689	42,936
番組勘定	996,938	1,043,179
その他	1,191,992	1,408,819
貸倒引当金	△2,967	△2,724
流動資産合計	7,394,553	7,442,973
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	1,562,357	1,584,268
その他(純額)	220,334	211,507
有形固定資産合計	1,782,691	1,795,776
無形固定資産		
のれん	88,506	75,633
その他	425,758	412,903
無形固定資産合計	514,264	488,536
投資その他の資産		
投資有価証券	2,379,160	2,262,186
その他	462,784	490,361
貸倒引当金	△3,572	△6,497
投資その他の資産合計	2,838,371	2,746,050
固定資産合計	5,135,328	5,030,363
資産合計	12,529,881	12,473,337

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	710,322	1,021,455
短期借入金	456,000	460,000
未払法人税等	146,480	37,192
賞与引当金	122,973	57,192
その他	2,408,211	2,549,188
流動負債合計	3,843,987	4,125,029
固定負債		
退職給付引当金	79,720	84,404
役員退職慰労引当金	74,249	76,999
リース債務	1,479,494	1,504,542
その他	121,838	79,793
固定負債合計	1,755,302	1,745,740
負債合計	5,599,290	5,870,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666,633	2,666,633
資本剰余金	2,270,490	2,270,490
利益剰余金	1,569,355	1,202,021
自己株式	△228,445	△228,445
株主資本合計	6,278,034	5,910,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,523	35,898
繰延ヘッジ損益	10,763	13,209
為替換算調整勘定	32,426	40,699
その他の包括利益累計額合計	67,712	89,807
少数株主持分	584,843	602,059
純資産合計	6,930,591	6,602,567
負債純資産合計	12,529,881	12,473,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,151,138	3,408,920
売上原価	2,114,309	2,400,499
売上総利益	1,036,829	1,008,421
販売費及び一般管理費	958,188	1,155,618
営業利益又は営業損失(△)	78,641	△147,197
営業外収益		
受取利息	104	3,169
受取配当金	1,426	1,100
為替差益	3,674	8,760
その他	2,697	4,854
営業外収益合計	7,902	17,885
営業外費用		
支払利息	26,951	33,987
持分法による投資損失	7,756	118,596
その他	3,014	1,993
営業外費用合計	37,722	154,577
経常利益又は経常損失(△)	48,821	△283,890
特別利益		
固定資産売却益	—	10
段階取得に係る差益	53,118	—
投資有価証券売却益	327	—
特別利益合計	53,446	10
特別損失		
投資有価証券評価損	1,593	—
特別損失合計	1,593	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	100,674	△283,879
法人税、住民税及び事業税	13,098	24,038
法人税等調整額	18,410	△55,624
法人税等合計	31,508	△31,585
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	69,165	△252,293
少数株主利益	9,009	17,215
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,155	△269,509

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	69,165	△252,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,117	11,375
繰延ヘッジ損益	—	2,446
為替換算調整勘定	6,345	8,273
その他の包括利益合計	4,228	22,094
四半期包括利益	73,393	△230,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,384	△247,414
少数株主に係る四半期包括利益	9,009	17,215

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	100,674	△283,879
減価償却費	98,904	123,212
のれん償却額	16,840	12,873
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,384	2,681
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55,946	△65,781
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,750	2,750
受取利息及び受取配当金	△1,530	△4,269
支払利息	26,951	33,987
持分法による投資損益(△は益)	7,756	118,596
段階取得に係る差益	△53,118	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△327	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,593	—
売上債権の増減額(△は増加)	519,323	361,525
たな卸資産の増減額(△は増加)	21,049	△466,018
仕入債務の増減額(△は減少)	△295,654	311,133
未払又は未収消費税等の増減額	19,479	△55,254
その他の資産・負債の増減額	13,532	226,188
その他	2,872	△7,102
小計	429,533	310,642
利息及び配当金の受取額	26,466	26,101
利息の支払額	△26,938	△37,166
法人税等の支払額	△91,118	△127,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	337,942	172,208
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△316,010	△223,076
投資有価証券の取得による支出	△79,500	—
投資有価証券の売却による収入	588	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△889	—
定期預金の純増減額(△は増加)	△200,000	—
貸付けによる支出	—	△220,000
貸付金の回収による収入	321	—
差入保証金の差入による支出	△10,188	△1,801
差入保証金の回収による収入	4,090	280
その他	3	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△601,584	△444,584
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△65,000	4,000
配当金の支払額	△77,345	△89,864
セール・アンド・リースバックによる収入	240,085	151,652
リース債務の返済による支出	△41,886	△74,666
財務活動によるキャッシュ・フロー	55,853	△8,877
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,029	8,109
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△208,816	△273,143
現金及び現金同等物の期首残高	3,480,249	2,960,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,271,433	2,687,806

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	
売上高	708,707	822,263	668,352	308,677	643,138	3,151,138
セグメント利益又は損失(△)	65,790	△31,546	70,073	8,852	△34,528	78,641

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に計上した額は一致しており、記載すべき事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「技術」セグメントにおいて、持分法適用の関連会社であったデジタルシネマ倶楽部(株)の株式を追加取得したことにより、同社を連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの発生額は、当第1四半期連結累計期間においては79,331千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	
売上高	740,790	1,043,652	663,245	483,733	477,498	3,408,920
セグメント利益又は損失(△)	△72,341	29,008	△32,828	9,337	△80,374	△147,197

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失に計上した額は一致しており、記載すべき事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。